

第9回 公開シンポジウム

アーリーキャリアの声から アカデミアのジェンダー平等を再構築する

研究分野を問わず、アーリーキャリア期にある多くの研究者は、不安定な雇用形態やケア責任との両立、評価・競争システムの偏り、ハラスメントや孤立など、複合的かつ構造的な困難に直面しています。これらの課題は、ジェンダー不平等を軸に、年齢、雇用形態、国籍、障害、家庭状況、社会経済的背景などと交差し、特定の人びとに不利益を集中させています。

本年度のGEAHSSシンポジウムでは、こうした困難を個人の問題としてではなく、アカデミアに内在する制度的・構造的課題として捉え直します。アーリーキャリア世代の経験知を出発点に、世代間・分野横断的な対話を通じて、より持続可能で包摂的な学術空間の可能性を探ります。

- (1) 日時：2026年2月28日（土）13:00-16:30
(2) 実施形態：オンライン（zoom）参加費無料
事前登録制（先着300名／申込締切：2026年2月26日）



(3) プログラム



<https://x.gd/fMM3B>

総合司会：西村賀子（GEAHSS副委員長、日本西洋古典学会、和歌山県立医科大学）
開会挨拶：三浦まり（日本学術会議第一部総合ジェンダー分科会、日本政治学会、上智大学）
幹事学会挨拶：和気純子（日本社会福祉学会 会長、東京都立大学）

◆第1部（13:10～15:20）シンポジウム

司会：田中弘美（GEAHSS幹事、日本社会福祉学会、大阪公立大学）
趣旨説明：堅田香緒里（GEAHSS委員長、日本社会福祉学会、法政大学）

【シンポジスト】（登壇順）

大谷琢磨（立命館大学、JSPS RPD、人類学）
関野文子（立命館大学、JSPS RPD、人類学）
子安由美子（日本福祉大学、社会福祉学）
林亜美（神田外語大学、労働社会学）

【コメンテーター】

椎野若菜（東京外国語大学、第七期GEAHSS委員長）
保田真希（北翔大学短期大学部、GEAHSS幹事）

◆第2部（15:40～16:20）参加者によるディスカッション

Room1：アーリーキャリア全般に関する問題
Room2：アーリーキャリアのネットワーキングの取り組み
Room3：研究と育児・介護等との両立にまつわる問題



本件に関するお問い合わせ

E-mail: geahsssymposium@gmail.com